

## ごみ拾い

### いろいろな種類のごみがあったよ



広場がきれいになってみんな笑顔

11月26日に、菊水ひまわり園の年長児41人が、県営駐車場と江田船山古墳周辺のごみ拾いを行いました。

毎年ボランティアでごみ拾いを行っていますが、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、園児がごみを探し、保育士が拾うという方法で行いました。園児たちは、手にバケツを持って、「先生、ここにあるよー」「こっちにも、あるよー」と言いながら、小さなごみまで見つけ、一生懸命にごみ探しに取り組んでいました。

ごみ拾いを終えた後は、「たばこのごみがいっぱいだったね」「ペットボトルも捨ててあったね」と、どんなごみが多かったのか、園児同士で話をするようすが見られました。「ごみはちゃんとごみ箱に捨てるんだよね」と、ごみへの意識を高めた園児たちでした。

## 秋晴れの下

### 分館親善ペタンク大会開催

11月8日、三加和グラウンドで、第15回分館親善ペタンク大会を開催しました。今年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、参加チームを縮小し、ソーシャルディスタンスなどに配慮して開催しました。52チーム（1パート9～12チーム）が参加。参加した人たちは、秋晴れの中、楽しく競技をしていました。

<大会結果>

- Aパート 西口Aチーム
- Bパート 上和仁Aチーム
- Cパート 用木Aチーム
- Dパート 下吉地Bチーム
- Eパート 下岩Bチーム



集中して投球

## 大豆に詳しくなったよ

### 株式会社丸美屋による遠隔授業が行われました

11月17日、菊水小学校で株式会社丸美屋の福永哲也さんによる遠隔授業が行われました。福永さんは、毎年、大豆の育て方や加工について、学校で授業をしていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、パソコンや電子黒板、インターネットなどの情報通信技術を使って遠隔授業が行われました。

この日は、和水町内田にある丸美屋本社と菊水小学校3年生の教室を、Web会議サービス「Zoom」を利用してつなぎ、遠隔授業を実施。子どもたちはDVDを鑑賞したり、電子黒板に映し出された福永さんのお話を聞いたりして、実際に工場見学に行ったように詳しく学ぶことができました。また、児童たちは、福永さんに気になったことを質問するなどして、大豆に関する知識をより深めていました。



菊水小学校3年2組の遠隔授業のようす



元和水町地域おこし協力隊の松下元気です。実は昨年12月で地域おこし協力隊を卒業しました。

2年前の9月に家族で和水町に「地域おこし協力隊」として移住し、最初は何をしたらいいのか、右も左もわからない状態でしたが、先輩の後ろを追いかけながら、この町のこと、地域おこし協力隊のことを勉強して、少しずつ活動の幅を広げてきました。

まず、情報発信担当として、SNSの運営や動画の作成をしていました。その中でこの町の財産はここに住んでいる「人」だと感じ、スタートしたのが「なごみ日和」です。和水町で活躍している人たちを紹介したいと1年半連載を続けてきました。

そして、情報収集、情報発信の場として、野外映画上映会などのイベントの企画や、地域食堂「和水町みんなの食堂」などのコミュニティづくりにも力を入れてきました。

その他にも、古墳公園入口のひまわり畑作り、上板桶のかかし祭り、あらたま地域おこし協力隊TAN、子ども出版社など、この2年間でいろいろな活動をしてきました。活動を振り返るとたくさんの町民の皆さんの顔が思い浮かびます。それだけたくさんの人に助けてもらったおかげで、活動ができてきたんだと、今感謝の気持ちで一杯です。

今後は、縁あって町内の企業で働き、一町民として生活を続けていきます。これからも地域のために、この町のための活動も続けていきたいと思っています。なごみ日和は、水上さんと野田さんが引き継いでくれることになりました。これからも「和水町地域おこし協力隊」の応援をよろしくお願いします。

最後にこの2年間で関わっていただいたすべての皆さん、本当にありがとうございました。

## なごみ日和 vol.18

和水町の活躍している人を紹介します

活動報告会開催！  
「753\_meet\_up！」

とき 1月23日 日  
午後1時30分～4時

- 申し込み
- ①QRコード先の申し込みフォームから
  - ②和水町地域おこし協力隊 Facebook ページから
- ※オンラインで開催予定。  
後日配信URLをメールで連絡。



## 交流会をしました

### 熊本ヴォルターズ・NAGOMIシューターズ

11月23日、熊本ヴォルターズの選手と町内で活動中のバスケットボールチーム「NAGOMIシューターズ」の会員約30人の交流会が行われました。

まず、金栗四三生家記念館でふるさとガイドから金栗先生の幼少期のエピソードや功績を学んだあと、旧緑小学校体育館まで約3.3kmをランニング。プロ選手からパス・シュート・ドリブルなどのテクニックを学び、ミニゲームで交流を深めました。プロ選手が豪快で華麗なプレイで得点を決めると、参加した子どもたちからは歓声が上がっていました。

参加者は「両足で止まることや基本を学ぶことができよかった。良い思い出になった」と感想を述べました。



みんなで記念撮影